

2012年9月6日

旧南豆製氷所の保存と活用に向けた再検討を求める陳情書

下田市議会議員の皆様

下田市内で唯一の国登録有形文化財である旧南豆製氷所が解体の危機に直面しています。

市が買い戻すことを念頭に購入した現所有者は 2008 年に市が購入・活用を断念して以来建物の処遇に困り、全解体を前提とした現状変更届を文化庁に提出して受理されました。

南豆製氷は下田の水産業の盛衰と共に歩んだ下田の希少な近代化遺産であり、伊豆半島の石造建築の伝統と技を今に伝える地域全体の貴重な文化財です。

そして最も重要なのは、南豆製氷には下田に資する将来的な活用価値があることです。

この 8 年間で観光資源としての南豆製氷の価値はむしろ上昇しています。

南豆製氷は残存する伊豆半島最大の石造建築であり、伊豆石を「火山からの贈りもの」と位置付ける伊豆半島ジオパーク構想に照らせば「ジオサイト」そのものです。さらに、伊豆の国市が韮山反射炉の世界遺産登録を進めるなか、南豆製氷には伊豆を訪れる産業遺産ファンが見学することのできる数少ない大規模な近代化遺産としての価値があります。

全国的にも希少な石造の近代化遺産と伊豆半島ジオパークのジオサイトを兼ねたビジターセンター／ミュージアムとして活用すれば、投下資金の回収は可能ではないでしょうか。

南豆製氷は来年には建造 90 周年を迎えます。「歴史を大切にすまち」として広く一般に知られる下田です。この歴史的建造物を保存する価値や、その将来的な活用価値について、議会でぜひ議論していただきたくお願い申し上げます。

南豆製氷応援団有志

代表 英 みどり